

【今年度の方針】

- (1) 子供の姿から学ぶことを大事に、その成長を通じて保護者との信頼を深めていく
- (2) 法人研修での交流を通して、職員一人ひとり・集団の力量を高めていく
- (3) 耐震対策について、行政の助言を受けながら目に見える形で保護者に示していく（耐震診断をする）

【2013年度のまとめ】

- (1) 子どもを信頼して～子どもの成長を喜び合う保護者との信頼関係作りは、日々の関わりを通じて培う。
 - ① 保育園生活で見せる姿を伝え、共有する為に大事にしたこと
 - ・お便りやクラスごとの懇談会、個人面談では、日常の姿を伝える。困るように見える行動、姿は子どもの訴えである事。保育園では、行動の基になっている気持ちをわかってあげようとしている事。友だち関係、仲間づくりによって育つ力の大切さを伝える様にしてきた。
 - ・職員の連携 ～子どもの姿と関わりについて話し合うこと・職員が対応に困ったときに相談・支え合う事が大事と何度も確認しあった。
 - ・保育園で見せる姿と家庭の姿の違いを理解できないという保護者の、「わが子が可愛い。」そこを理解して共感する為に研修では、グループワーク形式で日々の対応に生かせるように研修担当者を中心に取り組んだ。
 - ② 保育中の怪我や傷に対して、アンケート調査にそって対応してきたが顔に大きな傷がついた対応では、初期の見方で反省が残った。（爪切りのお願いとチェック）
 - ③ 食べることは命を育むこと → 栽培した物を食べる事や食材に触れる事、クラス単位・縦割りグループで調理活動など食育の取り組みは、調理職員の励みにもなったと思う。アレルギー児の誤食を防ぐ対応として、チェック体制を強化し毎日提供前に調理・園長・担任の三者確認をした。
 - ・大気中の放射線測定を毎月初日、食材の放射線についても東京都の事業で3回検査し玄関に検査結果を掲示でお知らせした。
- (2) 法人研修～職員の力量を高めて地域に根ざす保育園づくり
 - ① 年度初めの職員研修は、双方の主任・副主任と打ち合わせを重ねておこなった。法人の理念や大事にしている子どもの人権や権利についての研修は、保育をしていくうえで要となる内容だった。
 - ・このことを、日々の実践に生かすことは職員自身の保育観と一体の事で、職員会議や園内研修での討論で積み重ねた。「子どもの気持ちに寄り添う」「一人ひとりの自己決定を待つ保育」「緑の家で培ってきた保育」について理解し合うことは、子どもを真ん中に心を寄せることが大事と感じた研修。
 - ・みどりの丘保育園との交流

行事の行き来を通じて交流した。5歳児は、お手紙のやりとりも盛んに行い保護者の皆さんに、みどりの丘保育園の様子を伝えることができた。
 - ② 近隣の皆さんには行事のときにお誘いチラシを配り焼き芋やお餅を近隣に配りながら会話をすることは保育園の事を知っていただく良い機会となっている。ふれあい動物園は人気。
 - ・パートナー保育登録をしていただいた方に、毎月の誕生会やふれあい動物園・納涼会・餅つき会などの園行事に、地域便り⇒「あそびにきてね」でお誘いをした。 パートナー保育登録者 27名
 - ・一時保育の希望問い合わせは品川区の要綱を満たさない方が多く、又職員で取り決めたルールに沿ってお断りすることもあった

(3) 耐震対策の第一歩として耐震診断を行い、補強を要するとの結果が出た。

- ・東京都福祉保健財団の「耐震診断アドバイザー制度」を利用し、東京都の耐震診断の補助金申請をした事業となった事は本当に良かった。保護者から、1日も早く補強対策を要望する意見を頂いているので、着実に進めていきたい

(4) その他

- ・福祉サービス第三者評価受審

保護者や職員の率直な意見を受けとめていきたいと思った。一つひとつの事柄を、主任・副主任・リーダー層ととりくんでいきたい。

子どもへの対応に関して、保護者からの意見をいただき職員の力量アップと園長の指導力が求められていると感じた。子どもが安心して生活できる保育園、安全な保育園、働き甲斐のある保育園づくりに力を合わせる事が課題。

- ・共同募金からの寄付金によって平均台やマット、カラートネル、玉入れセット等を購入し体育遊びの幅を広げることができた
- ・感染症予防の為に排便の世話は常に、使い捨て手袋を使用。インフルエンザの大流行に伴い、全園児の手拭としてペーパータオル・使い捨てマスクの着用を積極的に行ったので消耗品費予算が超過した。
- ・給食費は、大雪の影響など食材の高騰によって予算超過した。

(資料) 子どもの状況

| 定員 | 4月1日 | 9月1日 | 3月1日 |
|----------------------|------------|------------|------------|
| 0歳児(ことり組) 11名 | 11名 | 11名 | 11名 |
| 1歳児(うさぎ組) 12名 | 12名 | 12名 | 12名 |
| 2歳児(ちゅうりっぷ組) 13名 | 13名 | 12名 | 13名 |
| 3歳児(ひまわり組) 13名 | 13名 | 13名 | 13名 |
| 4歳児(たんぽぽ組) 13名 | 13名 | 13名 | 13名 |
| 5歳児(すみれ組) 14名 | 14名 | 14名 | 14名 |
| 計 76名 | 76名 | 76名 | 76名 |
| アレルギー除去・代替食提供児童 | 4名 | 4名 | 4名 |
| 一時保育利用(4月～3月) | 4名(+5自由契約) | | |
| 年末保育利用(12月30日) | 6名 | | |
| 延長保育利用(平日の月平均延べ利用者数) | 補食 113名 | 夕食 78名 | |